

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年4月23日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873200422		
法人名	聖北会 有限会社 敬七商事		
事業所名	グループホーム すずらの里	ユニット名	うぐいす1丁目
所在地	〒319-0204 茨城県笠間市土師1283-252		
自己評価作成日	平成23年8月25日	評価結果 市町村受理日	平成24年4月19日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報公表支援センターのホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0873200422&SCD=320&PCD=08
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成23年10月19日	評価確定日	平成24年4月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>当施設は、自然に囲まれた静かな環境の中に立地しています。利用者さんと職員とは家族のような雰囲気の中で毎日楽しく過ごしています。</p> <p>毎日の食事は、新鮮な食材を使い、栄養の偏りの無いよう職員が毎日献立を考えてお出ししています。</p> <p>入浴は利用者様の希望を聞きながら毎日入ることができます。</p> <p>受診は職員同行で協力病院にお連れしています。</p> <p>健康管理をしながら利用者様のペースに合わせ安心して日々過ごして頂けるようこれからも努めて行きたいと思っております。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>利用者一人ひとりの自由を尊重するとともに全職員が利用者を理解し、できる限りその人の希望にそうように支援をしている。</p> <p>職員は利用者全員に対してなるべくおむつを使用せず、トイレでの排泄ができるよう支援をするとともに、排泄の自立に向けた支援に努めている。</p> <p>献立は利用者の希望を取り入れてユニット毎に違う内容となっており、それぞれの料理の匂いを感じることができ、利用者の食欲の増進につながっている。</p> <p>利用者の希望にそって毎日でも入浴することができ、利用者は午前と午後の好きな時間帯で選択をしている。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ユニット内や玄関の見やすいところに貼っておき申し送りの時等に確認している	地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所独自の理念をつくり、管理者と職員は朝の申し送り時や会議等で話し合い、共有しながら実践に取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事への参加を呼びかけたり、馴染みの店を利用するようにしている。	職員は毎日の食材を地元のスーパーや商店から購入しており、地域の情報が得られ易い環境を築いている。 利用者は地域行事に積極的に参加するまでには至っていないほか、近隣に住宅が無いため事業所の行事に地域の人々の参加を得るまでには至っていない。	近隣に住宅が無いため、どのように地域に溶け込んで行けばよいか模索中であるが、積極的に地域行事に参加したり、事業所の行事に地域の人々を招くなどで交流を深めていくことを期待する。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	推進会議などで、今後の方向性を話しあっている。周囲に民家が少ないこともあり、今後の課題である。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族や職員からの意見や要望を取りまとめ代表者や家族代表などに報告し話し合いを行っている。取りまとめた意見は職員に報告しサービスに活かすようにしている	運営推進会議は市職員や家族等の代表、民生委員、事業所代表、職員で2ヶ月に1回開催し、事業所の運営状況や課題などについて説明するとともに、会議で出た意見等をサービスの質の向上や運営改善に活かしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	推進会議参加の折に質問をしたり電話で分からないことを聞いたりしている。市からの研修には積極的に参加するようにしている	市担当者と電話で連絡を取り合ったり、訪問して事業所の実情を伝え課題を相談しているほか、市担当者から必要な情報を提供してほしいとの要望があるなど協力関係を築いている。 市が主催する研修会に積極的に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は身体拘束の意味を良く理解しておりミーティングの時等に話しをしている	身体拘束をしないケアに取り組むとともに、利用者に危険な行為が見られた場合はカンファレンスを行い対応している。 身体拘束排除に向けたマニュアルを作成しているが職員の研修は実施されていない。 玄関は利用者の状態により施錠することがあり、自由な暮らしを支援するまでには至っていない。	内部研修などで全職員が身体拘束の内容と弊害について認識し、安全面に配慮して鍵をかけずに自由な暮らしができるよう、利用者一人ひとりの外出の癖や傾向を把握して対応するなどの工夫をすることを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティングや申し送り時に職員同士が話し合いをして防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	管理者は常日頃から支援の必要がないか見守りし自立支援担当者に相談している		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書や重要事項説明書を見ながら十分に説明し質問や疑問に答えている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を置いたり面会時や推進会議時には話掛けをし要望の表出が出来やすいように雰囲気づくりをしている	玄関に意見箱を設置したり、家族等からは面会時や運営推進会議で要望を聴くほか、利用者からは日々の生活の中で話し合い、出た意見等を運営に反映させている。	意見や苦情を出しにくい家族等に配慮し、無記名のアンケートを実施するとともに、結果を家族等に報告することを提案する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のミーティング時には職員全員が出席し、代表者、管理者は意見や提案を聞きサービスに反映させている	代表者や管理者は毎月全体会議を開催して職員の意見や提案を聞く機会を設け、職員一人ひとりの事情を組み入れて働きやすい職場環境づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者が代表者と職員の仲介をし意見要望を伝え働きやすい環境づくりに努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者管理者は研修の機会があれば声掛けをしている。同系列の施設での研修に参加することもできる		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	現在のところは交流をするに至っていない。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初期には本人との関係を密にし困っている事や心配なことなどに気を配り不安の解消に努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談の段階で聞き取りを行い入所後も話しやすい関係になれるよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の段階で聞き取りを行い入所後も話しやすい関係になれるよう努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として分からないことを教えてもらったり一緒に食事や仕事などをしながら家族的な関係を築こうと努めている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族には電話や絵手紙などで本人との関係が途切れないようにしたり面会時には居室でお茶を飲みながらゆっくり話しが出来るようセッティングしたりしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	高齢化のためか知人友人が訪ねてくることは今のところはない。遠縁の方などは時々見えることがあるのでゆっくりしていけるよう声掛けやお茶の接待等をしている	職員は利用者の生活歴や生活習慣を尊重し、今まで通っていた馴染みの美容室を利用できるよう支援するなど、これまでの生活が継続できるように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	地域の中での知り合い同士もおられるので席を近くにしたり一緒に出来る仕事をお願いしたりしている。知らない同士の利用者さんの間には職員が入って交流がとり易いように努めている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後は入院のことが多い為関係は切れてしまうことが多くなっている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	全体的に意向の表出は困難になっており表情や様子などから推測し支援に努めている。表出できる方にはその都度聞いて本人本位に生活できるよう努めている	職員は利用者のこれまでの生活歴を参考にするとともに家族等から情報を得て、利用者一人ひとりの思いの把握に努めている。 食事の好みや風呂の入り方、行きたい所などを聴き利用者の思いにそえるよう、申し送りノートで全職員が共有し支援をしている。 意思疎通が困難な利用者の場合は家族等から情報を得たり、表情などを観察し、思いや希望にそった生活ができるように取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の状況を家族から聞いたり以前の病院よりのサマリーなどから本人像をの把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝のミーティングや申し送りノートなどの活用で一人一人の状況を把握しその日の過ごし方を良いものとするよう努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回のミーティングや必要に応じて職員同士意見を出し合いながら本人に沿った計画を立てサービスに活かしている	介護計画は利用者や家族等の意見や希望を聴き職員で話し合って作成するとともに、定期的に見直している。 利用者の心身の状態に変化が生じた場合は現状に即した介護計画に見直し、利用者や家族等の確認を得ている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の過ごし方や活動の様子、受診の結果等個別に記録しいつでも職員が様子を把握できるよう努めている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	自宅のように介護をしたい家族が毎日お世話に来たり、行きたい希望の病院の付き添いなど家族の状況に応じて満足していただける様努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	訪問カットはあるが昔から利用している美理容院に行っている利用者さんもおられる。敬老会は市よりの補助を頂き施設内で行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時に家族や本人より意向を伺って希望に添っている	協力医療機関への通院を支援しているほか、それ以外のかかりつけ医への受診も職員が付き添い支援をしている。 受診結果はその都度電話で家族等へ報告をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週5回の訪問看護があり受診の見極めや日常の健康管理のアドバイスなどもらって健康的な生活が送れるよう努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は定期的に洗濯物を取りに行きながら看護師や医師などから様子を聞いたりして退院後の生活が安心して送れるよう努めている。経営母体が病院であるため病院関係者とは顔なじみとなっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	大きな状態の変化がある時や診察の結果等、家族と連絡を取り合っている。今後の方針や意向について話し合っている	重度化や終末期に向けて、利用者や家族等の意向を踏まえ医師や職員と連携を図り支援をしており、協力医療機関の支援があるため利用者の安心につながっているが、現段階では介護度の低い利用者が多く、重度化や終末期に向けた対応方針について関係者で共有を図ったり、意思確認書やマニュアルを作成するまでは至っていない。	重度化や終末期について事業所が対応できる最大の支援を利用者や家族等に説明するとともに、関係者で話し合い方針の共有を図るほか、意思確認書やマニュアルを作成することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時のマニュアルを基本として行動できるようミーティングなどで確認している。マニュアルは目に付く場所に掲示している		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災想定訓練を行っている。地域の消防団との連携を取っている	年2回消防団の協力を得て避難訓練を実施しているが、夜間を想定した避難訓練や地域住民の協力を得た避難訓練を実施するまでには至っていない。 避難訓練の実施記録を作成し反省点を記録しているが、課題を話し合うまでには至っていない。 緊急連絡網を掲示するとともに、災害の発生に備えて食糧や飲料水などを備蓄している。	近隣に住宅が無いので隣接している同一法人の事業所から応援を受けられる体制を築き、夜間を想定した避難訓練への参加を働きかけることを期待する。 避難訓練で明らかになった課題を話し合い記録に残すとともに、次回訓練に活かすことを期待する。 備蓄品の保管場所を建物の外に確保する予定なので実現することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	呼びかけるときは苗字で声掛けをしたり失敗があったときは周囲に配慮したりしてプライドを傷つけないように努めている	職員は利用者一人ひとりの人格を尊重し、トイレ誘導時はプライバシーを損ねないような声かけや対応に配慮している。 個人用ファイルは事務室の鍵のかかる戸棚に保管し、情報の漏洩に留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	意思表示の出来ない利用者さんには選択できるような声掛けを行うように出来ない方には気持ちを推測しつつ押し付けする事の無いように努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事がゆっくりな人、入浴など本人のペースを尊重し時間の制約を受けないように努めている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替えの時には似合いそうな洋服をアドバイスしたりしながら一緒に決めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を一緒にしながら食べたいものはないか聞いたりしている。刻みやとろみなど本人の能力に合わせおいしく食事が出るよう努めている。じゃが芋の皮むきやテーブル拭き等お願いし感謝の言葉をかけるように努めている	利用者は職員と一緒に食事の準備や後片付けをしている。 職員は利用者と同じテーブルを囲み、楽しく食事ができるよう支援するとともに、献立は利用者の希望を取り入れてユニット毎に作成している。 行事にちなんだ献立や月に一度の外食で、利用者が食事を楽しむことができるように支援をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事水分量の記入をし体調管理に努めている。個人個人の状態を職員全員で把握出来るよう努めている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個別に応じた口腔ケアを行うよう努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中はオムツの使用を控えトイレでの排泄が続けられるよう話し合いしながら支援に努めている。排泄表を記入、職員が同じケアが出来失敗が少なくなるよう努めている	職員は利用者の生活リズムや排泄パターンを把握したうえでトイレ誘導を行い、排泄の自立に向けて支援をしている。 利用者一人ひとりのおむつやパットの使用を常に見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表記入し排便の状況の把握をし定期的に排泄出来るよう支援している。状況に応じ訪看時に下剤の使用の相談や指導をお願いしている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	本人の希望を優先に毎日入浴が出来るような日課となっている。	入浴は午前と午後に行い、利用者の希望にそって毎日入浴ができるように支援をしている。 重度化して一般浴が困難になった利用者は機械浴で対応するなど、個々に応じた支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼休息の習慣のある利用者さんには毎日同じ様なペースで休息できるよう勧めている。夜間寝つきの悪い利用者さんには話し相手になったりしながら共に過ごしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋のファイルがある他申し送りノートや業務日誌の連絡欄に処方の変更などを記入し職員全員が把握できるよう努めている。服薬は飲みにくい人には医師や薬剤師と相談しながら支援している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	カラオケや塗り絵等また何も趣味の無い人には得意な事などお願いし気分転換などが出来るよう努めている		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お花見や外食などの外出支援を行っている。日常的には外に出てお茶を飲みながら外気に触れたりしている	利用者は天気の良い日は庭で散歩をしたりベンチで外気浴を楽しむなど、日常的に戸外に出ている。 職員は月1回、外食ができるよう支援をしているほか、利用者の希望を受けて花見や紅葉狩りなど季節毎の行事を計画し、外出する機会を設けている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	馴染みの店での買い物は交代で出かけられるように努めているが歩行能力の低下が多く見られるようになって希望者は少なくなっている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	定期的な電話の取次ぎや絵手紙の制作などの支援を行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	和室の障子が落ち着いた雰囲気をもし出している。調理の匂いや包丁の音など生活感が感じられるようになっている。利用者さんはソファや和室など思い思いの場所で過ごせるようになっている	共用空間は利用者が居心地よく過ごせるように室温や採光に配慮している。 居間にある見晴らしの良い大きな窓からは景色を眺めることができ、季節を感じるができる。 ユニット毎に間取りは違うが、畳みのある部屋に大型テレビやビデオ、カラオケの設備があり、他のユニットの利用者が一緒に楽しめるように工夫をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室で休息したり玄関ホールの4人掛けの椅子などで談話などされている姿がみられる			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には持ち込みが自由であるが自宅が近隣の為か必要な物のみ持ち込んおられるようです。家族の写真や奥様の遺影を飾っている方もおられます	居室には利用者の手作り作品や家族の写真が飾られているほか、ダンスや机、衣装ケースなどが置かれ、その人らしく居心地よく暮らせる場所となっている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	館内はバリアフリーになっており3棟が繋がって自由に行き来ができるので利用者さん同士の交流が出来るようになっている。手すりを利用してトイレの自力歩行が出来ている利用者さんも居られる			

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームすずらの里

作成日 平成24年4月17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	10	職員一人一人の職業意識の向上を図る	一方的ではなく利用者家族の思いを聞いてサービスに反映させていく	4月にアンケートを送付したので結果を集計し全体ミーティング時に検討を行う	3ヶ月
2	6	事故には至らなかったが利用者家族や業者の出入り時に一般道路に出てしまわれたことが何度かあり事故の心配がある	自由に外の空気を感じられるような時間を作る	外気欲や散歩の時などには鍵の開放を行い自由に出入りして頂くようにしている。今後も研修を行い具体的な方針を話し合っていく	7ヶ月
3	2	高齢化に伴い下肢の筋力の低下が顕著で移動や車の乗り降りが困難となっている	秋祭りに参加できるようにしていく	地元の神社のお祭りに参加できるように早めに計画を立て事故のないようにしていきたい	6ヶ月
4	35	夜間想定訓練は達成しているが、備蓄品の保管のための適当な場所が決定できていない。	早めに設置場所を決定する	夜間想定訓練を行い反省と講評を行っている。備蓄倉庫の場所の設置場所の検討を行っている	3ヶ月
5	33	介護職員の看取りに対する理解と知識が未熟である	全体ミーティングを活用し研修を行い意識の向上に努めていく	マニュアルを作成したので家族に方針の説明や見取りに対する意思確認を行い職員には研修の機会を作るようにしていく	12ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。